

## 全日本事務局だより

教育関係三団体「全国集会」が東京で開催される

▼令和七年十月二十八日、東京都千代田区永田町にある参議院議員会館講堂において、松本洋平文科大臣出席のもと「教育関係三団体全国集会」が開催された。

▼この「全国集会」は、例年、教育関係団体連絡会（教育関係三団体）が主催しているが、本年は「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求める全国集会」として、開催された。

▼教育関係三団体は次の団体で構成されている。

（順不同）（公社）日本PTA全国協議会、（公社）日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育長協議会、中核市教育長会、全国町村教



育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校長会、全国連合退職校長会、全国高等学校長協会、全国公私立学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国へき地教育研究連盟、日本連合教育会、全国養護教諭連絡協

会、（公社）全国公立小中学校事務職員研究会、（公社）全国学校栄養士協議会、日本教職員組合、全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育管理職員団体協議会の二三団体である。

▼これらの団体は、保護者、教職員団体、校長会・教頭会等の管理職団体、教育長及び教育委員会の連合組織等、多岐にわたっており「教育」に関わりのある様々な団体で構成されている。

▼この全国集会では、参加者において「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求めるアピール」を採択し、広く国民に理解と支援をいただけるよう呼びかけることとしている。

▼すでに、来年度の予算にかかわっては、各省庁において予算要望の内容を公表している。今後、十月に発足した高市内閣として取りまとめる政府案の確定に向けて各省庁間での攻防が続

く。そして、一月からは通常国会での論戦が始まる。

▼今回の文科省予算案には中学校の三五人学級の計画的な整備を図っていくことが盛り込まれたが、そのほか教員の業務を軽減するための支援員の全校配置、さらに、優れた教員を確保するための待遇改善など、国民全体の声として、国に対して訴えていかなくてはならない。

▼当日は、各団体から二五〇人を超える参加者が会場に集つた。また、松本洋平文科大臣に加えて中村裕之副大臣、福田かおる政務官も参加された。さらに、各政党代表者として、自由民主党からは教育・人財力強化調査会長柴山昌彦衆議院議員、立憲民主党からは、ネクスト文部科学大臣 荒井優衆議院議員、日本維新の会からは、文部科学部会長 金子道仁参議院議員、国民党からは、企業団体委員長 西岡秀子衆議院議員、公明党からは、文

部科学部会長 浮島智子衆議院議員、社会民主党からは、副党首 ラサール石井参議院議員が参加され、挨拶をいただいた。



▼参加された各政党代表の国会議員からは、学校現場での教職員の働き方、教員不足、子供たちの不登校、さらには教職を目指す志望者の激減といった様々な課題を取り上げ、何とかして解決に結び付ける努力をしていく決意が述べられた。

▼最後に、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求めるアピール」を全国連合小学校長会の松原修会長が読み上げ、参加者により採択された。その後、各団体が衆参両院の国会議員会館を訪問し、その「アピール」等の文書を持参し、要請活動を開催した。

▼この「アピール」文は、本会HPの会員ページにアップされているので、是非、御一読いただけると幸いである。

(事務局長 富士道正尋)